医歯薬通信　水戸葵陵高等学校医歯薬コース　2022 年 7 月

SANS FRONTIÈRES vol.57

水戸葵陵高等学校ホームページ http://www.kiryo.ac.jp/

医歯薬講座　国際医療福祉大学出張講義（1 年）

5 月 26 日（木）、医歯薬コースの 1 年生を対象に、今年度最初の医歯薬講座が開かれました。「医療職」と言っても、その内容は多種多様です。また、現在の「チーム医療」では、その多様な医療職がそれぞれの専門性を活かしながら連携して医療を行うことが常識となっています。

入学間もない 1 年生が、まず、どんな医療職があり、どんな特色を持っているのかを学ぶための講座です。

国際医療福祉大学、医療福祉学部　医療福祉・マネジメント学科の教授、山本康弘先生においで頂き、医療福祉入門講座として、「きっと見つかる！ 自分にあった専門職―医療福祉のスペシャリスト―」というテーマで講義をして頂きました。ここ数年、リモート講義でしたが、久しぶりの対面での講義を実施することができました。1 年生からは、「始めて知った職種があった」、「様々な職種が協力していることがわかった」という感想が多く寄せられました。

今回知ったことをもとに、自分の進路を具体的に考えていく契機にしてほしいと思います。

葵陵祭　クラス展示

3 年 1 組の「桜」は葵陵大賞、3 年 2 組の「Hikiddin」は優秀企画賞を受賞！

葵陵祭　モザイクアート

医歯薬コース伝統の巨大モザイクアート。

責任をもって自分の担当分を作る。自分のことだけではなく、クラスの仲間を手助けする。そういう姿勢がなければ、作品はできません。

3 年生委員は、1 年生の教室まで行って説明をするなど、積極的に最上級生としての役割を果たしました。そのかいもあり、大きなミスもなく各クラスの作業が終了し、6 月 15 日に全体の貼り合わせ。

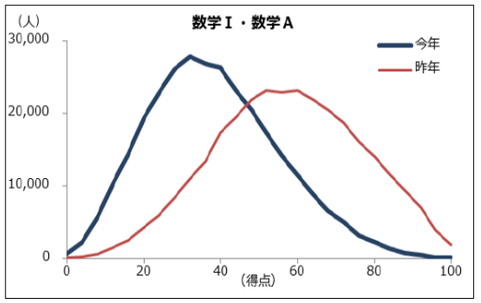
各学年の委員が協力し、経験者でもある 3 年生委員をお手本にして慎重に作業を進めました。委員たちの丁寧な作業で無事に完成！ 天候も味方をしてくれて、17 日、展示することができました。

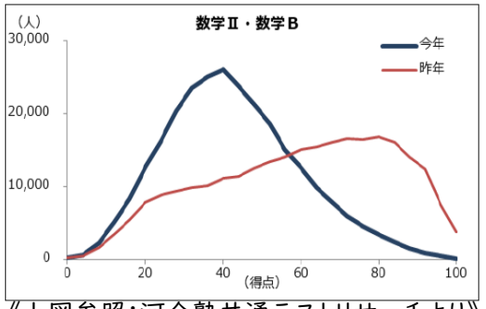
コース生の努力、担任と副担任の先生方の協力、当日は萩谷教頭先生にも協力して頂きました。皆の力を合わせた結果です。

共通テスト分析　数学

さて 20 年度の最後のセンター試験、21 年、22 年度の共通テストの本試験問題を見比べてみてほしい。年度順に問題冊子はⅠAが 18 頁、26 頁、22 頁、ⅡBが 14 頁、18 頁、24 頁となっている。ⅠAが 21 年度入試から 60 分から 70 分になったとは言え、受験生が読み解く文章量が大幅に多くなっている。よって科目を問わず文章読解能力の向上が急務である。自身で要約や図解を試みる訓練が必要であると認識して欲しい。

また年度順に平均点は ⅠA が 52 点、58 点、38 点、ⅡB が 49 点、60 点、43 点と発表があった。共通テストで可能な限り得点し、2 次試験で進路を決めようとしている多くの受験生が 2 日目のⅠA で精神的に衝撃を受けた。以降のⅡB や理科 2 科目（特に生物・平均点前年比-24 点）でも影響は出ている。





《上図参照：河合塾共通テストリサーチより》

数学においては、丁寧に誘導してほしいポイントがずれていた（今までが丁寧過ぎだった）り、複数の解答法を提示され、それぞれの解法を読解して解いたり、整数の一番最後に計算量の多いその大問の 2 周目を解かされたり、数列では導入の文章が膨大で、その関係が見抜けずに立式すらできず全問落としたりと、基礎問題を中心に演習していた受験者層が最も影響を受けたと推察する。

結果として、全体の平均点が 21 年度 571 点、得点率 63%から 22 年度 512 点、得点率 57%に減少し前年度比-59 点となった。しかしそれに応じて難関大のボーダーラインも下がり、上手に出願した者が合格するというの当たり前の結果となったようだ。Twitter で拡散された、共通テストでⅠAが終わった瞬間泣いて出て行ったあの受験生はその後どうなったのか。終わった試験の手応えに左右されず、次のテストに全力を尽くすという強い精神力も兼ね備えねばならないので肝に銘じよう。

数学に限らず「どのように学ぶか」を踏まえた問題の場面設定があると思って欲しい。①授業において諸君が学習する場面。②社会生活や日常生活の中から課題を発見し解決方法を構想する場面。③資料やデータ等をもとに考察する場面など、学習の過程を意識した問題の場面設定を重視していると言って良い。よって、次のようなことを意識して勉強をしてほしい。

＊速読力、読解力を強化するために、文章要約に着手する。（課題型小論文対策にもなる。）
　→問題文と記載の複数の資料(グラフや表・地図・手紙など)を見て必要な情報を整理して推理する力を養う。
　例》22 年度ⅡB 数列：与えられたグラフへ書き込んで思考、解決する訓練をしてみる。
＊友人に説明できるようにする(「学習の過程を意識した問題の場面設定を重視」)。
＊定義をきちんと説明できる・定理や公式は導出できる（浪人生の 4 月にやることはコレです）。
＊別解がないか考える（指数と対数、図形と方程式、ベクトルと複素数平面、極座標、極方程式）。